

令和4年 第3回(6月)志免町議会定例会一般質問通告書

通告順

番号	質問者	質問時間	件名	要旨	具体的質問内容	質問の相手
1	大熊 則雄	20分	1. 町内会について。	(1)町内会加入者を増やす取組みを。	①志免町の町内会の加入率は、併せて近隣市町の加入率の現状は。 ②町内会に入っていたが脱退した世帯はどれくらいあるか。脱退する理由を把握しているか。 ③若い方達の中には、町内会に入っても何もいいことがないと言われる方もいるが、町としてどのように考えるか。 ④加入率を増やし脱退を防ぐための手立て、取組みは。	町長
			2. ゴミ屋敷問題について。	(1)ゴミ屋敷への対応について。	①町内会から町へ対応の要請があった際は、どう対応しているのか。 ②町内会役員と行政が一緒になって解決できないのか。 ③ゴミ屋敷問題に対しては町の協力が不可欠。今後の町の方針は。	町長
2	牛房 良嗣	30分	1. 70、80はシニアの働き盛り。 7,000人の元気シニアに仕事と収入と生き甲斐を。	(1)町内シニア人口の推移は。 (2)行政の就労支援と今後の取組み。 (3)シニアクラブ(町内会)の就労、開拓活動と今後。 (4)全町(行政、シルバー人材センター、シニアクラブと町内会)三者一体の取組みを。	①人生100年時代。くらしの実態は。 ②シニアへのアンケート実施を。 ①公園、緑道、グラウンド等の除草、芝生の手入れ。 ②小中学校の通学路危険箇所への保護員配置。 ③全課、シニア就労の見直し協力。 ①地域高齢者の見守り(相手の承諾を得て)、家庭の掃除洗濯、庭の手入れ、ゴミ収集、買い物支援等。 ②公民館清掃、花壇の手入れ、町内清掃。 ③コミュニティスクールの手伝い(学習支援ほか)。 ④町内の高齢者施設、病院等の配食配膳の手伝い。 ①シニア支援本部を立ち上げ、シルバー人材センター、シニアクラブ三者一体での取組みを。	町長
3	小森 弘美	30分	1. 自分らしく安心して生きられる地域ぐるみのつながりを。	(1)高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて。 (2)認知症サポーターを地域福祉の担い手に。	全国的にひとり暮らしの高齢者は増加の傾向にある。ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯で地域から孤立してしまうと、最悪なケースでは孤独死に繋がる。令和3年3月議会から2回目の質問であるが、その後の進捗も併せ、町の見解を伺う。 ①志免町の65歳以上の総数、ひとり暮らしの世帯は。 ②各町内会におけるひとり暮らしの高齢者の把握はどのようにしているか。 ③各町内会におけるひとり暮らしの高齢者・高齢者だけの世帯への見守り体制は。 ④安全確認の具体策として緊急通報システムがあるが、現在の利用者は何人か。 ⑤ひとり暮らしの高齢者に対して、緊急通報システムの周知徹底は行っているか。利用者は増えているか。 ⑥孤独死を防止するためには、地域における見守りがとても重要になるが、町として、ひとり暮らしの高齢者の見守りの新たな取組みはあるか。 認知症サポーターの活躍の場については、令和2年9月議会で質問をしているが、近年、認知症の人やその家族を支える役割として、認知症サポーターへの期待はますます大きいと考える。 そこで、現在の認知症サポーターの役割と活躍の場について、町の見解を伺う。	町長

					<p>①志免町の認知症サポーターの人数は何人か。</p> <p>②認知症サポーターの活躍の場は。</p> <p>③認知症の知識をもって積極的に地域に貢献したいサポーターに対して新たな取組みはあるか。また、検討しているか。</p> <p>④認知症の方と共生する町となっていくために、認知症サポーターに地域福祉の担い手になっていただく取組みが必要と考えるがいかか。</p>	
4	岩下 多絵	30分	<p>1. 赤ちゃんウェルカムのまちづくり。</p> <p>(1) 出生数の減少について。</p> <p>(2) 妊娠 SOS 相談について。</p> <p>(3) 「子育て世代包括支援センター さくらの木」について。</p> <p>(4) 不妊治療について。</p> <p>(5) 里親制度への支援について。</p>	<p>①人口増加傾向にあるわが町でも、出生数は徐々に減っている。過去3年の出生数と出生率は。昨年については全国と、福岡県の出生率も。</p> <p>①一人でも多くの赤ちゃんが生まれてほしいと願う一方、事情を抱え産むことを悩む女性もいる。尊い命を守るため「妊娠 SOS」等の相談窓口の設置はあるか。町では窓口がない場合、県の「妊婦 SOS」を紹介するだけなのか。民間ボランティアへの紹介等は。</p> <p>②このコロナ禍で交流の場が減り、孤立する妊婦や、母子がいないか。</p> <p>③今年度は交流の場等は増えているか。また、どう対策について。</p> <p>①現在、役場の健康課内に一か所の設置であるが、子育て世代は西小学校校区が多く、役場は遠い。これまで、子育て支援の拠点を西地区へも増やす検討はされていないのか。町としての考えは。</p> <p>①令和3年度より医療保険適用外の一般不妊治療(人口受精)に要する一部を支援する事業が始まった。利用件数は。</p> <p>②せっかく始まった事業だが、助成の対象となる治療や、対象者等かなり絞られる。町として独自の支援の検討は。</p> <p>③男性不妊の存在についても知ってほしい。</p> <p>①県が示す事業の里親制度への支援、町としての考えは。また、問い合わせに関してはどう説明を行っているのか。</p> <p>②中でも乳幼児を短期間預かる「養育里親」というものがある。町内でサポートされる方がどれくらいいらっしゃるのか。実績は。</p> <p>③里親になるためにはどうするのか。</p> <p>④実際、お金がかかるのか。</p> <p>⑤せっかくの事業、多くの方に知ってほしい。どう周知していくか。</p> <p>⑥最後に、子育て世代に選ばれるまち、そして産み育てやすいまち、町の考えは。</p>	町長	
5	大西 勇	30分	<p>1. 子ども健診事業。</p> <p>(1) 三歳児健診の視力検査について。</p> <p>2. 幼児保育事業。</p> <p>(1) 子育て支援の充実について。</p>	<p>①弱視について。 弱視とは・原因は・治るのか・障がいと言えるのか。</p> <p>②弱視の子どもはもともと見えにくい状態が当たり前となっているので、「見えない」とか「見えにくい」と訴えることがほとんどない。全国的に「弱視の早期発見」について良い成果が上がってない。本町の現在の「検査方法」と、「精密検査が必要」とされた割合はどのくらいか。</p> <p>③視力検査の重要性の周知・啓発はどのようにされているのか。</p> <p>④現在、3歳児健診について「視覚異常の検出精度を向上させるためには、市町村が行う問診、視力検査に加えて、フォトスクリーナー等を用いた「屈折検査」を併用することが望ましいとされている。この屈折検査のフォトスクリーナーの導入を提案する。</p> <p>①「育休退園」「育児休業取得時の兄弟の受け入れ」について。 簡潔にわかりやすく説明を。</p>	町長	

					<p>②「育休退園」制度の廃止か見直しについて。</p> <p>③一次預かり事業について。 「一次預かり事業実施要綱」と現状。</p> <p>④企業主導型保育園についての現状。</p> <p>⑤国の対策、本町の考え。</p> <p>⑥基幹保育園の基本的な考えかた。</p> <p>⑦本町での公立・私立の連携について。 基幹保育園が中心となり施設間での連携、役職同士の連携、情報交換、研修等を行う組織づくりが必要。</p>	
6	丸山 卓嗣	30分	<p>1. 防災について。</p> <p>2. 消防団について。</p>	<p>(1)これから本格的な梅雨時期を迎え、集中豪雨等による災害の発生が懸念される町内の危険箇所とその対策について。</p> <p>(2)災害時における町の初動対応。危機管理体制について。</p> <p>(1)地域防災力の中核を担う消防団の重要性について。</p>	<p>①土砂災害危険箇所について。 i. 急傾斜地崩壊危険区域及び危険箇所、土砂災害警戒区域及び特別警戒区域。 ii. 調査及び点検の実施 iii. 町民への周知と今後の対策</p> <p>②盛土について。 i. 危険箇所と調査及び点検の実施 ii. 町民への周知と今後の対策</p> <p>③溜め池について。 i. 危険箇所と調査及び点検の実施 ii. 町民への周知と今後の対策</p> <p>④浸水（内水）対策について。 i. 危険箇所と調査及び点検の実施 ii. 町民への周知と今後の対策</p> <p>災害の被害や影響を最小限に抑えられるかどうかは初動対応にかかっている。</p> <p>①地域防災計画の改定概要（令和4年3月）について。</p> <p>②町の初動体制について。</p> <p>③地域との連携について。 i. 自主防災組織 ii. 防災教育（地域・学校）</p> <p>近年は経験したことの無い大規模災害が頻発し、地域防災力の充実強化が求められている。</p> <p>①志免町消防団について。 i. 役割や重要性に対する町の認識 ii. 組織構成、団員推移、活動等</p> <p>②団員の確保について。 i. 全国的な消防団員減少に対する町の認識 ii. 機能別団員制度の導入 iii. 今後の取り組み</p> <p>③格納庫や車両の整備について。 i. 現状と今後の計画</p> <p>④消防署との連携強化について。</p> <p>⑤時代に即して変革も必要、今後の課題について。 i. 団員家族や仕事場への配慮 ii. 地域コミュニティの重要な役割</p>	町 長 町 教 育 長 町 長

7	末藤 省三	30分	1. 環境について。	(1)プラスチック資源循環促進法について。	①4月1日に改正された、プラスチック資源循環促進法の改善点について。 ②現在の志免町のプラスチックゴミ排出量は。今後の削減の目標値と対策について。	町 長
			2. 生活環境について。	(1)食糧危機による町民生活への影響について。	①食糧危機の状況をどう見るか。 ②食糧の安全保障や食料自給率の向上について。 ③食糧、種、肥料等について。 過度に海外に依存している中、町民の暮らしをどのように考えるか。	町 長
			3. 教育について。	(1)教師と部活動の関係について。 (2)教師不足について。 (3)図書館のあり方について。	①部活動の顧問のあり方について。 ②文科省の方針は。 ①教師不足の実態について。 ①図書館における利用者の図書閲覧情報等の照会への対応について。	町 長 教 育 長